

川崎から十三浜へ

2011年3月11日から2013年現在

はぐるま

追憶

2011年3月11日

菅馬場の築30年の

ぼろアパートの一室

はぐるまの本部は、

ゆらゆら・ギンギンと

長い時間揺れた。

一階の作業所から

飛び出して、外に走り

出す仲間を抑えて

広域避難場所の中野島

中学校に避難するか

迷ったが、周りが静か

で、揺れもおさまって

いたので、普通の日常の

生活に戻るはずだった。

しかし

その日から

宮城県石巻市十三浜のわかめの生産者青山さ

んと、わかめを20余年にわたって販売してきた

神奈川県川崎市はぐるまの、新たな活動が

始まった。歳度か現地に向かい、東北を肌で感じ、

何をしたら良いのか都度考え、その場しのぎで

あつたかもしれないが、できる行動を起こしてき

た。

さて今年には

仲間みんなで、東北へいこう

こんなことを考えています。

登山に練習があるように、東北に行くために

は、どんな準備が必要なのか、仲間と共に考

え、たくさん学習をして行けるといいと思っ

ています。(十三浜関連記事わかめ新聞掲載)

しかし

震災から2年を迎える今だからこそ、

私たちにできる形の支援の継続を！

【石巻市北上町十三浜復興支援

トーク&ライブへのお誘い】

震災後、はぐるまの仲間たちを青山さんに繋い

でいただいた海藤節夫さん(通称、海ちゃん)の

十三浜を元気にするためのお手伝いとしてはじま

った「震災復興トーク&ライブ」も3回目となり

ます。「地元の人たちを元気にする広場をつく

る!」「ピザを焼く石窯とハーブ園と道の駅もつく

れたらいいな!」との思いが続々と形になってき

ました。昨年のお盆には広場で「音楽祭」を開催

し、青山さんご夫婦も来場いただきました。

そして、同封させていただいたわかめ新聞に掲載

されている通り、地元漁協さんとNPO法人「パ

ルシック」が協働で石窯広場のとなりに十三浜の

アンテナショップを建設しています。

No.73号

2013年3月8日

社会福祉法人
はぐるまの会

広報委員会
後援会

川崎市多摩区菅馬場1-18-17

Tel 044-946-1308

このアンテナショップが完成すると、地元の方々の遊び場から発展し、誰でも立ち寄っていただくことのできる憩いの場となります。これまでに全面的にご協力いただいている「はぐるま関係者・川崎を中心とした地域の皆様」も気兼ねなく立ち寄っていただける場となりますので、今から楽しみです。

今年の6月に青山さんを仲間たちと尋ねてからもうすぐ1年です。今、十三浜はわかめ収穫の最盛期を迎えています。

「青山さん！また来ました！」と仲間全員で元氣よく十三浜を訪れる日を心からたのしみしております。



復興支援トーク&ライブのご案内を同封させていただきます。あたたかい心のこもった支援ライブです、皆様のお越しをお待ちしております。

稗原地区 事業進展報告

さーいよいよ開所式です！

地鎮祭の報告から4か月が経過し、あつという間に建設工事の方も残すところあと1か月となりました。心配されていた天候による工事の遅れもなく、予定通り、3月中の完成を無事に迎えられるそうですので、ご安心ください。



1月と2月の工事の様子
本当にあつという間の2か月間でした！匠の技に感謝です



ご報告が遅れておりました賃貸借契約に関しましても、無事に契約をいたしました！

いよいよ4月12日は開所式です！（外部向け）

（内部関係者は4月5日内覧会を行います）

ご招待者のリストは： 案内状のお届けは：と慣れない作業に大騒ぎの日々を過ごしておりますが、いざとなれば自慢の「はぐるまの仲間たち」がついていきますので、真心を込めて地域の方々をお迎えするだけです！



完成間近の施設「(総称) はぐるま稗原農園」を眺めながらの昼食風景！
気分は最高の一言です！



稗原地域の皆さんへ

これから宜しく

お願い致します

2月2日(土) 稗原会館にて、工房及びホームの移転についての、説明会を致しました。30人定員位の小さな会館に、満席になるくらいの方たちが集まって頂き、はぐるまの会の説明を、熱心に聞いて頂きました。

はぐるまからは、事業推進委員の5人のメンバーが説明に当りました。仲間自治会に、お茶の接待や受付をお願いし、小さいお子さんの相手など上手で和やかな雰囲気でした。また、後援会会長からのコーヒーの提供で、良い香りの中で会ができました。ファミリーの会会長の見守りもあり、はぐるまの会総出であたった「地域説明会」となりました。

農協菅生支店の支店長様、セレサ不動産様からも冒頭のご挨拶を頂きました。質疑応答には、稗原自治会の会長さん始め多くの方たちのご意見や、ご質問がありましたので、報告を致します。

Q、災害時の拠点となるべく施設づくり…

との説明があつたが、具体的な避難場所

としての機能を担ってもらえるのか。

A、近隣には大きな施設「みずさわ」もあるので協力は必要かと思うが、障害をお持ちの方や、小さなお子さんに関しては、今までの、ノウハウを活かして受け入れが可能。一般の方々の受け入れについてはこれから、自治会の皆様と防災計画を考える中で、共にできる事をしていきたい。

Q、稗原の子供会会長をしています。役員も少なく、活動に苦労している。お祭りではぐるまの仲間達がお手伝いをしてくれて本当に助かりました。今後もお手伝いをお願いできますか。

A、地域の行事のお手伝いに関しては、仲間達と続けさせて頂きます。今後ともよろしくお願ひ致します。

Q、この地域には、やんちゃな子供たちが多くが、利用者さんに接する時の注意を教えてください。嫌がる事とかはどんな事ですか。

A、仲間の特性は様々で、一概には説明しにく

いのですが、ごく普通に接して下さい。

悪い事をしたら、是非注意して下さい。

地域でお叱りを受けながら、見守られ、成長をしていければと考えます。

Q、幾度か行事ではぐるまの利用者さんにお手伝いしてもらっているが、凄く頑張ってしまうので心配になります。うまくコミュニケーションを取る方法を教えてください。

A、本人たちは地域のお手伝いに誇りを持って取り組んでいますので、我慢している事は少ないと思いますが、皆様が感じられる、言語でうまく表現できない分、無理をして頑張ってしまうことも有るかと思ひますので、気がつかれましたら近くの職員にお声かけ下さい。

Q、土日も生活の場があるので皆さん居る事でしようが、どのように通っているのか、これからどのように考えているか。

A、ヘルパーさんと外出したり、自分たちがしたい事をして過ごしています。水沢の森「とんもり谷戸の緑地保全活動」「多摩川清掃」等市民活動にも参加をしています。



正面・・・はぐるま関係
 右側面・農協関係
 後方・・・稗原の
 地域の方々

【ご意見】・・・私も同じく岸井さんの畑を借りているので、是非一緒に無農薬の野菜作りをしたい。岸井さんにも、はぐるまの手伝いをするように頼まれているので、一緒に作業をするのを楽しみにしている。また食糧残差を利用した有機たい肥づくりも行っているので、軽トラック1台分をお届けします。・・・《ありがとうございます》

【追伸】・・・説明会に出席できなかった方たちもおりますので、近隣の方にごあいさつ状と、施設説明資料を、60件のお宅に配布して来ました。ポスティングのお宅も有りましたが、20件ほどは直接お話ができました。

仲間交流編成発表会：新しいメンバーが決定！！

○新しい仕事をしたい
 ○ホームと作業所が一緒の仲間はトラブルが多い
 ○新リーダーを育てたい
 ○ホームと作業所が一緒の仲間

仲間達から出された問題点や、希望を、宮前ができる時に解決して、新しい出発。新たな挑戦をしていきたいという仲間の意気込みを感じます。

新しい事に向う時は、ときめきを感じますね。

さー！ いよいよ新しい生活の開始です

※職員の出づき... さて、この大きな変化に仲間が適応できるかなあ。職員にとっても挑戦・思考錯誤・力量が問われます。気持ちの引き締まる思いです



ファミリーの会（親の会）から、宮前施設の調理室設備の寄付を頂きました。仲間会より、ファミリーの会にお礼ができました。



新しいあおばホームの仲間達です。5人の仲間が、新しいぴかぴかのホームに入居します。目標は「早寝・早起き・けんかをしない！！」です